

目 次

はしがき

プロローグ 人間と社会変動の関係を考えるために————— 1

北野 雄士

- 1 社会の変化と私たち 1
- 2 坂本龍馬 2
- 3 トクヴィル 4
- 4 各章とエピローグの概要 7

第 1 部 変化する社会を生きる

第 1 章 差別 = 社会との出会いの変容————— 16

——被差別経験の語りから

山本 哲司

- 1 はじめに 16
- 2 差別／被差別の拮抗と誇り 16
- 3 向けられる差別と知らされる差別——差別との出会い 18
- 4 内面の語り 19
- 5 経済成長期の社会変容と部落差別 23
- 6 部落差別の地域リアリティと記号的リアリティ 24

第 2 章 生駒山地における修験道と クリスタル・ヒーリングの習合————— 30

——都市近郊山間地域における信仰活動の伝統の発明

岡尾 将秀

- 1 はじめに 30
- 2 朝鮮半島由来の信仰活動への取り組み 31

- 3 クリスタル・ヒーリングの導入 34
- 4 信者の属性と関係の変化 36
- 5 おわりに 40

第3章 土地利用からみた農村の半世紀—— 44 ——滋賀県野洲市須原地区を事例として

川田 美紀

- 1 農村が経験した近代化 44
- 2 「農業の近代化」以前の農業 47
- 3 「農業の近代化」以降の農業 48
- 4 「農業の近代化」が農村に与えた影響の顕在化 50
- 5 農村における「生活の豊かさ」 54

第4章 継子が語るステップファミリー経験と 日本の家族制度の課題—— 57

菊地 真理

- 1 はじめに——日本におけるステップファミリーの増加 57
- 2 離婚・再婚後の家族と法制度との関わり①——日本の現状 58
- 3 離婚・再婚後の家族と法制度との関わり②——他国の状況と日本との比較 60
- 4 若年成人継子19人に対するインタビュー調査——本研究の対象と調査方法 63
- 5 事例分析——継子からみた別居実親、同居継親それぞれとの関係性 64
- 6 考 察 67

第5章 超高齢社会における高齢期の意味の変容—— 71 ——百寿者を親にもつ子ども高齢者の語りから

安元 佐織

- 1 はじめに 71
- 2 変容する高齢者人口と高齢者の社会的地位や役割 72
- 3 調査方法 74
- 4 結 果 75
- 5 まとめ 81

第2部 社会の変化を創り出す

第6章 横井小楠の思想はどのような社会的条件で 生かされたか——84

——小楠が改革しようとした熊本藩と福井藩の政治状況を比較して

北野 雄士

- 1 はじめに 84
- 2 小楠の思想的特徴 85
- 3 熊本藩における改革運動への関与 87
- 4 福井藩における改革運動への関与 89
- 5 小楠の思想が生かされるかどうかを決定した社会的条件 92
- 6 おわりに 96

第7章 行政広報研究に見る行政と市民との 関係形成の変遷——98

——パブリック・リレーションズの視点から

太田 美帆

- 1 はじめに 98
- 2 行政広報とパブリック・リレーションズ 98
- 3 戦後の行政広報——上意下達から協力関係の形成へ 101
- 4 豊かな時代の行政広報——政策への民意の反映の模索 104
- 5 21世紀の行政広報——新しい関係づくりを 107

第8章 貧困対抗活動の生態系と社会的レジリエンス——112

西川 知亨

- 1 はじめに 112
- 2 貧困対抗活動の生態系と諸類型 114
- 3 貧困対抗活動の各類型の社会的世界 115
- 4 社会生態学的過程と各系統間の関係性 119
- 5 貧困対抗活動の生態系と個人的／社会的レジリエンス 121

第 9 章 原発反対運動と地域メディア ————— 126

——熊野・井内浦原発の反対運動を事例に

景山 佳代子

- 1 埋もれた歴史 126
- 2 地域紙からみる井内浦原発反対運動の経緯 128
- 3 原発をめぐる言論空間の創出 136
- 4 市民＝メディア＝議会の三位一体と民主主義 141

第 10 章 パブリックドメインから見た サイバースペースの未来 ————— 144

——個と集合は両立するか？

曾我 千亜紀

- 1 初期インターネット・コミュニティが夢見たもの 144
- 2 パブリックドメインと著作権 146
- 3 ビジネスと贈与の間 148
- 4 文化は何を目指すのか 150
- 5 集合と個の新たな関係の構築を目指して 153

第 3 部 新しい社会変動論の可能性

第 11 章 社会のハイブリディティに関する理論的研究 ——— 160

——グローバル化時代の社会変動論のために

内海 博文

- 1 グローバル化と社会概念の困難 160
- 2 時間と空間の再考 162
- 3 社会のハイブリディティ 165
- 4 ゾーンからの社会変動論 170

エピローグ 現代において社会の変化を論じるということ ——— 175

内海 博文

- 1 社会変動論の衰退？ 175

2	社会変動論の拡張	176
3	社会変動論の錯綜	177
4	社会変動論と想像力	180
5	社会変動論の可能性	183
6	社会変動論のダイナミクスにむけて	186

あとがき

執筆者紹介